



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 Appier Group株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4180 URL <https://www.appier.com/>  
代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)游 直翰  
問合せ先責任者 (役職名)Senior Vice President of Finance (氏名)橋 浩二 (TEL) 03(6435)6617  
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 未定  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト 向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績 (2024年1月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	7,374	32.8	736	90.7	65	—	80	—	57	—	57	—	2,046	—
2023年12月期第1四半期	5,552	32.3	386	47.2	△31	—	△12	—	△34	—	△34	—	142	△88.8

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び無形資産償却費＋営業費用に含まれる税金費用

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2024年12月期第1四半期	円 銭 0.56	円 銭 0.56
2023年12月期第1四半期	△0.33	△0.33

(注) 1. 前第1四半期連結会計期間末に存在する普通株式1,228,505株相当のストック・オプションは、1株当たり四半期損失に対して逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期損失の算定に含まれておりません。当該ストック・オプションは、将来において基本的1株当たり利益を潜在的に希薄化させる可能性があります。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2024年12月期第1四半期	百万円 39,591	百万円 31,214	百万円 31,214	% 78.8
2023年12月期	35,496	26,374	26,374	74.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	未定	未定

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
2. 2024年12月期の期末配当予想は現時点で未定であり、配当の有無につきましては、2024年12月期のコア・フリー・キャッシュ・フロー(注3)の状況を勘案し決定いたします。  
3. コア・フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋無形資産の取得による支出

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株 当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	34,495	30.6	4,898	72.8	2,090	161.0	2,003	88.5	1,899	89.6	1,899	89.6	18.64

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び無形資産償却費＋営業費用に含まれる税金費用

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年12月期1Q	101,984,083株	2023年12月期	101,882,216株
2024年12月期1Q	257株	2023年12月期	257株
2024年12月期1Q	101,917,883株	2023年12月期1Q	101,535,531株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

「ソフトウェアをよりスマートに、AIでROIを向上させる」が当社グループのミッションです。

当第1四半期連結累計期間の売上収益は7,374百万円（前年同期比32.8%増）となりました。これは、アップセル・クロスセルによる既存顧客からの売上収益の拡大、地域及び顧客業種の拡大による新規顧客からの売上収益の拡大によるものであります。また、2024年3月におけるARR（注1）は29,033百万円となり、2023年3月の21,620百万円からの成長率は34.3%となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上総利益は3,812百万円（前年同期比37.1%増）となり、売上総利益率は51.7%（前年同期は50.1%）となりました。売上総利益率の改善は、継続的な技術革新への取り組みによるものであります。

事業規模の拡大及び為替影響により、営業費用（販売及びマーケティング費用、研究開発費、一般管理費）の金額は増加していますが、販売及びマーケティング費用と一般管理費の売上収益に対する比率は低下しました。研究開発費は為替影響及び生成AI等に関する研究開発活動の強化により、売上収益比率が前年同期比で1.8%ポイント上昇しました。その結果、EBITDA（注3）は736百万円（前年同期は386百万円）、営業利益は65百万円（前年同期は31百万円の損失）となりました。また、税引前四半期利益は80百万円（前年同期は12百万円の損失）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は57百万円（前年同期は34百万円の損失）となりました。

- (注) 1. Annual Recurring Revenueの略。年間経常収益。利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、関連する期間における1か月平均のリカーリング売上収益（注2）を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、関連する期間の最終月のリカーリング売上収益を12倍することで年換算して得られた金額です。2024年3月のARRは、利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては2023年10月から2024年3月のリカーリング売上収益の1か月平均を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては2024年3月のリカーリング売上収益を12倍して算出しております。
2. リカーリング顧客(利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、①当社グループのソリューションを4四半期以上連続で使用している顧客企業及び②直近1年以内の新規顧客企業で当社グループのソリューションを3か月以上連続で使用している顧客企業を、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、当社グループと1年以上の契約を締結している顧客企業をいいます。)からの売上収益
3. EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び資本の状況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は39,591百万円であり、前連結会計年度末に比べて1,739百万円減少しております。流動資産は前連結会計年度末に比べて692百万円増加しており、主な増加要因は事業成長に伴う契約資産の増加（前連結会計年度末比463百万円増）、為替の変動によるその他の金融資産の増加（同433百万円増）であり、主な減少要因は無形資産の取得による支出等による現金及び現金同等物の減少（同627百万円減）であります。非流動資産は前連結会計年度末に比べて1,047百万円増加しており、主な増加要因は資産化の要件を満たす開発費用の資産計上によるのれん及び無形資産の増加（同1,173百万円増）であります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は8,377百万円であり、前連結会計年度末に比べて384百万円減少しております。流動負債は前連結会計年度末に比べて250百万円減少しており、主な減少要因は未払給与・税金等の支払によるその他の債務の減少（前連結会計年度末比274百万円減）であります。非流動負債は前連結会計年度末に比べて134百万円減少しており、主な減少要因はリース負債の返済による減少（同132百万円減）であります。

## (資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は31,214百万円であり、前連結会計年度末に比べて2,123百万円増加しております。主な増加要因は為替変動によるその他の資本の構成要素の増加（前連結会計年度末比1,989百万円増）であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、5,507百万円（前連結会計年度末比627百万円減少）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は200百万円となり、前年同期比で支出が201百万円減少しました。主な支出の減少要因は非資金損益調整後の税引前利益の増加（前年同期比349百万円増）であり、主な支出の増加要因は利息の受取額の減少（同169百万円減）であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は558百万円となり、前第1四半期連結累計期間の収入6,782百万円と比べ、7,340百万円収入が減少しました。主な収入の減少要因は定期預金の純減による収入の減少（前年同期比7,971百万円減）、無形資産の取得による支出の増加（同255百万円増）であり、主な収入の増加要因は純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の取得による支出の減少（同889百万円減）であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は170百万円となり、前年同期比で支出が39百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回公表した内容から変更はありません。



## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,134	5,507
定期預金	8,004	8,134
営業債権	3,726	3,823
契約資産	1,629	2,092
その他の債権	331	398
その他の流動資産	165	294
その他の金融資産	4,940	5,373
流動資産合計	24,929	25,621
非流動資産		
有形固定資産	228	267
使用権資産	2,686	2,550
のれん及び無形資産	9,347	10,520
繰延税金資産	190	187
その他の金融資産	472	446
非流動資産合計	12,923	13,970
資産合計	37,852	39,591
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	600	600
契約負債	174	199
営業債務	2,436	2,440
その他の債務	2,546	2,272
未払法人所得税	45	44
リース負債	655	661
その他の流動負債	91	81
流動負債合計	6,547	6,297
非流動負債		
引当金	68	66
繰延税金負債	54	54
リース負債	2,092	1,960
非流動負債合計	2,214	2,080
負債合計	8,761	8,377
資本		
資本金	7,555	7,569
資本剰余金	23,880	23,943
自己株式	△0	△0
利益剰余金	△8,471	△8,414
その他の資本の構成要素	6,127	8,116
親会社の所有者に帰属する持分	29,091	31,214
資本合計	29,091	31,214
負債及び資本合計	37,852	39,591

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	5,552	7,374
売上原価	△2,771	△3,562
売上総利益	2,781	3,812
販売及びマーケティング費用	△1,777	△2,328
研究開発費	△650	△995
一般管理費	△433	△497
その他の収益	49	76
その他の費用	△1	△3
営業利益 (△損失)	△31	65
金融収益	122	120
金融費用	△103	△105
税引前四半期利益 (△損失)	△12	80
法人所得税費用	△22	△23
四半期利益 (△損失)	△34	57
四半期利益 (△損失) の帰属 親会社の所有者	△34	57
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△0.33	0.56
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△0.33	0.56

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期利益(△損失)	△34	57
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本性金 融商品の公正価値の純変動額	23	△26
純損益に振り替えられることのない項 目合計	23	△26
純損益に振り替えられる可能性のある項 目		
在外営業活動体の外貨換算差額	153	2,015
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	153	2,015
その他の包括利益合計	176	1,989
四半期包括利益	142	2,046
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	142	2,046

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2023年1月1日残高	7,535	23,712	△0	△9,473	4,443	△16	4,427	26,201
四半期利益(△損失)	—	—	—	△34	—	—	—	△34
その他の包括利益	—	—	—	—	153	23	176	176
四半期包括利益	—	—	—	△34	153	23	176	142
株式報酬取引	—	24	—	—	—	—	—	24
新株予約権の行使	3	3	—	—	—	—	—	6
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—	△0
所有者との取引額等 合計	3	27	△0	—	—	—	—	30
2023年3月31日残高	7,538	23,739	△0	△9,507	4,596	7	4,603	26,373

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2024年1月1日残高	7,555	23,880	△0	△8,471	6,151	△24	6,127	29,091
四半期利益(△損失)	—	—	—	57	—	—	—	57
その他の包括利益	—	—	—	—	2,015	△26	1,989	1,989
四半期包括利益	—	—	—	57	2,015	△26	1,989	2,046
株式報酬取引	—	49	—	—	—	—	—	49
新株予約権の行使	14	14	—	—	—	—	—	28
所有者との取引額等 合計	14	63	—	—	—	—	—	77
2024年3月31日残高	7,569	23,943	△0	△8,414	8,166	△50	8,116	31,214

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	△12	80
減価償却費及び無形資産償却費	415	670
受取利息	△122	△120
支払利息	26	19
予想信用損失 (△は戻入)	21	10
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 評価損益 (△は益)	△46	△70
株式報酬費用	30	77
その他	0	△5
運転資本の増減		
営業債権	△332	104
契約資産	4	△350
その他の債権	△6	63
その他の流動資産	△5	△121
契約負債	22	18
営業債務	92	△157
その他の債務	△623	△386
その他の流動負債	11	△12
小計	△525	△180
利息の受取額	183	14
利息の支払額	△26	△14
法人所得税の支払額	△33	△20
営業活動によるキャッシュ・フロー	△401	△200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△70	△61
無形資産の取得による支出	△703	△958
子会社の取得による支出	△42	—
定期預金の払戻による収入	10,905	445
定期預金の預入による支出	△2,489	—
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 取得による支出	△889	—
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 売却による収入	72	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,782	△558
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入	—	600
短期借入金の返済による支出	—	△600
リース負債の返済による支出	△131	△170
株式の発行による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131	△170
現金及び現金同等物の為替変動による影響	59	301
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,309	△627
現金及び現金同等物の期首残高	3,804	6,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,113	5,507

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、AISaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。